

自立する女性農業者の育成に向けた普及活動

愛知県尾張農業普及指導センター（尾張農林水産事務所農業改良普及課）
担い手育成グループ 堤 元美

1 地域の概要及び活動の背景

愛知県尾張農業普及指導センター（以下、「センター」と記述）管内は、名古屋市をはじめとする15市4町からなり、面積は県全体の21.1%、人口は415万人で県全体の55.8%を占めている。都市近郊という条件を生かした農業が展開されており、農業産出額は県全体の約1割を占める。認定農業者数は532名で同じく県全体の1割を占める。

都市化の進展の中、農地の減少とともに担い手の不足や高齢化が進んでおり、これからの地域農業を支える新たな担い手の育成・確保対策が大きな課題となっている。

このため、センターでは、青年農業者及び女性農業者の育成を重点課題に設定し、積極的な活動を実施している。

2 女性農業者に対する普及活動の内容

女性農業者が地域農業の担い手として活躍できるよう、経営及び経営参画に必要な知識や技術の習得ができるよう支援するとともに、仕事と生活の調和に配慮した役割分担の明確化を推進する。加えて、収益力の向上のため、女性農業者が主体となった、地元農産物を活用した農産物加工や6次産業化の取組を支援する。

また、これらの推進に当たっては、女性農業者間の情報交換や相互研鑽のための組織活動を支援するとともに、女性農業者の社会参画の取組を推進する。

【取組の根拠となる方針、計画等】

- 協同農業普及事業の実施に関する方針（平成23年3月策定）
及び尾張農業普及指導センター普及指導基本計画（平成23年3月策定）
- 「新あいち農山漁村男女共同参画プラン」（平成23年3月制定）

3 実際の普及活動の内容

(1) 女性農業者の育成

出産や子育て期の女性農業者（概ね45歳以下）を対象に、経営のパートナーとして早期に農業経営に参画できるよう、ヤングミセスセミナーを年4回開催する。

個別巡回により、受講者ごとにカルテを作成し、女性農業者が興味を持っている項目をセミナーの内容に反映させる。また、ランチタイムも使って受講者間の交流が図れるように心掛ける。

社会貢献期の女性農業者（愛知県農村生活アドバイザー以下「アドバイザー」と記述）を対象に、農業委員や農業協同組合役員等の公的機関や団体の方針決定の場へ参画できる人材を育成するため、セミナーを年3回開催する。また、アドバイザーと市町幹部との懇談会を開催し、農業委員等の登用促進を図る。

(2) 家族経営協定の締結推進

若手女性農業者やアドバイザーを対象に、家族経営協定に関する研修会を開催する。

また、後継者の就農時や結婚時、経営委譲時期などのタイミングで家族経営協定の締結や見直しを個別に推進する。さらに、市町農業委員会と連携し、家族経営協定の調印式を開催する。

(3) 6次産業化の新たな取組の推進

女性起業農家や起業志向農家を対象に、新商品の開発や営業許可の申請など支援する。また、農業経営体に対して、農産加工の技術指導や情報提供等により6次産業化を推進する。

4 これまで得られた主な成果（平成23年度から25年度までの3年間）

(1) 女性農業者の育成

若手女性農業者では、ヤングミセスセミナーに延べ77名が参加した。また、センター職員での農家情報を共有化することで、セミナー対象者が33名から41名となった。経営参画に意欲的なセミナー受講者に対して、個別に巡回指導した結果、6名が農業経営で新たな役割を受け持つようになった。

アドバイザーでは、人材育成セミナーを開催して資質向上を図るとともに、6市町で市町幹部との懇談会を行い、女性農業者の登用を要望した。その結果、農業委員、農協理事、人・農地プラン検討会等に登用され、方針決定の場へ参画する女性は新たに21名増え、55名となった。

(2) 家族経営協定の推進

若手女性農業者やアドバイザーを対象とした研修会や個別に家族経営協定を推進した結果、新たに23戸が家族経営協定を締結し、累計数は179戸となった。また、6戸が、家族経営協定を再締結した。

平成25年度には、農業委員会事務局への働きかけにより3市で家族経営協定の調印式を開催することができた。

(3) 6次産業化の新たな取組の推進

女性起業農家や起業志向農家を対象とした研修会の開催や、起業向けの各種セミナーの参加を呼びかけ、6次産業化の取組を支援した。

女性起業農家では、新商品の開発やギフトセットの販売など新たな取組を支援した。その結果、4起業が新商品の販売や新規イベントを開催し、起業活動が活発になった。

起業志向農家では、営業許可の申請に関する助言や商品開発の支援を行い、1起業が営業を開始した。

道の駅の開設により結成された女性グループでは、加工や栽培に関する研修会により、テント市や漬物の加工販売活動を開始した。女性グループの活動は軌道に乗り、イベントでブースを任せられるなど、道の駅関係者等に認められるようになった。



参考資料

尾張地域の概況

この地域は、愛知・岐阜県境を流下する木曾川や東部から流入する庄内川等によってもたらされた肥沃な沖積平野と、北東部の愛岐丘陵地帯の低山地となっている。概ね砂壤土から壤土で、農耕に適している。

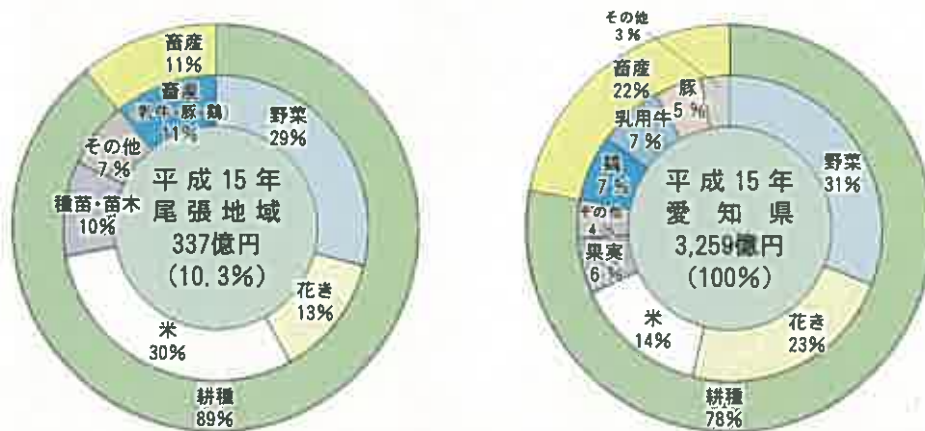
地域の総農家戸数は、24,905戸で、県全体の29.6%となっている（2010世界農業センサス）。

あいちの伝統野菜の一つとして知られる守口ダイコンの奈良漬は、高級贈答品として定着しています。ぎんなん、緑化木、花壇用苗物類は、全国有数の産地となっている。



注 春日町は、現清須市
西春町と師勝町は現北名古屋市

農業産出額の構成



(資料：生産農業所得統計)

愛知県尾張農業普及指導センターの普及活動体制

三の丸庁舎 農業改良普及課 担い手育成グループ
技術指導グループ
野菜・花き指導グループ
稲沢駐在室 技術指導グループ
花き・果樹指導グループ

あいち女性の活躍推進プロジェクト

平成25年度、吉本副知事をリーダーに「あいち女性の活躍推進プロジェクトチーム」が設置された。『女性が元気に働き続けられる愛知』を目指して女性の活躍促進に取り組んでいる。農業分野では、女性の人材育成強化と職域の拡大が目標となっている。